

報道関係各位

2020年2月25日

ソーバル株式会社

ソーバル株式会社は Ubiq 社と販売代理店契約を締結

ソーバル株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：推津 敦、以下ソーバル）は、データセキュリティカンパニーである Ubiq Security Inc.（本社：California US、CEO：Wias Issa、日本支社：東京都渋谷区、以下 Ubiq）と国内における販売代理店契約を締結し、データを分割/高速暗号化を実現するソフトウェアの提供を開始します。

近年、通信技術の高速化に伴い、動画などの大容量データの送受信が増加しています。そして、データに対するセキュリティ対策は企業またはユーザーに必然的な行為となっており、より堅牢的で高速処理可能なデータセキュリティの需要が高まっています。そういった中で、ソーバルは、アメリカでデータセキュリティの販売実績がある Ubiq と販売代理店契約を締結いたしました。ソーバルは、「Ubiq Trusted File Manager」のライセンス販売だけにとどまらず、Ubiq の SDK を使用した技術開発に取り組み、お客様のさらなるビジネス成長に貢献していきます。

Ubiq 製品の概要と特徴

Ubiq 製品は、様々なデータの分割/高速暗号化を実現するソフトウェアです。例えば以下のようなケースに非常に有効です。

- ・安全にクラウドストレージを利用したい
- ・ファイル転送をセキュアに行いたい
- ・ファイルサーバーのセキュリティを強化したい
- ・監視カメラの映像など、ストリーミングデータのセキュリティを保ち、かつ低遅延での配信を可能にしたい

Ubiq について

2012年、アメリカ サンディエゴにおいて創業。
「データファースト セキュリティ」を提唱し、企業、政府機関、軍、警察など様々な分野における重要なデータのプロテクションを提供・サポートしている。

Ubiq CEO ワイス・イッサからのメッセージ

「Ubiq は、マーケットで成功を収め先見性のあるリーダーであり多くのお客様と深い信頼関係を持つソーバルと提携できることは大変光栄です。

昨今あらゆるデバイスがインターネットと接続され、ますます複雑となるこの世界において、お客様がデータセキュリティ、プライバシー保護のニーズを満たすことができるよう、ソーバル社と共に努めて参ります。」

ソーバルについて

ソーバルは、1983年に創業された独立系システム開発企業です。コンシューマ向けの製品開発を中心に、オフィス機器や産業用装置まで幅広い製品分野に対して、組込み用ソフトウェア開発、LSI/周辺回路設計、アプリケーション開発、ドライバ開発等、幅広く技術の提供を行っております。また、WEB・クラウド開発、品質評価、マニュアル制作など多岐に渡るソリューションを展開しております。さらに、近年では自動運転分野やAI（人工知能）を活用した開発など最先端分野にも積極的に参入しております。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

■Ubiq Security Inc.

担当：Hwei Oh (CMO)

E-Mail：hwei.oh@ubiqsecurity.com

日本公式サイト：<https://www.ubiqsecurity.jp/>

■ソーバル株式会社 新規事業部

E-Mail：m-contact-nb@sobal.co.jp

東京都品川区北品川 5-9-11 大崎 MT ビル

公式サイト：<https://www.sobal.co.jp/>